

クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔呼吸器・アレルギー内科〕

指標名

呼吸器疾患における外来逆紹介の導入実績

目標・ゴール

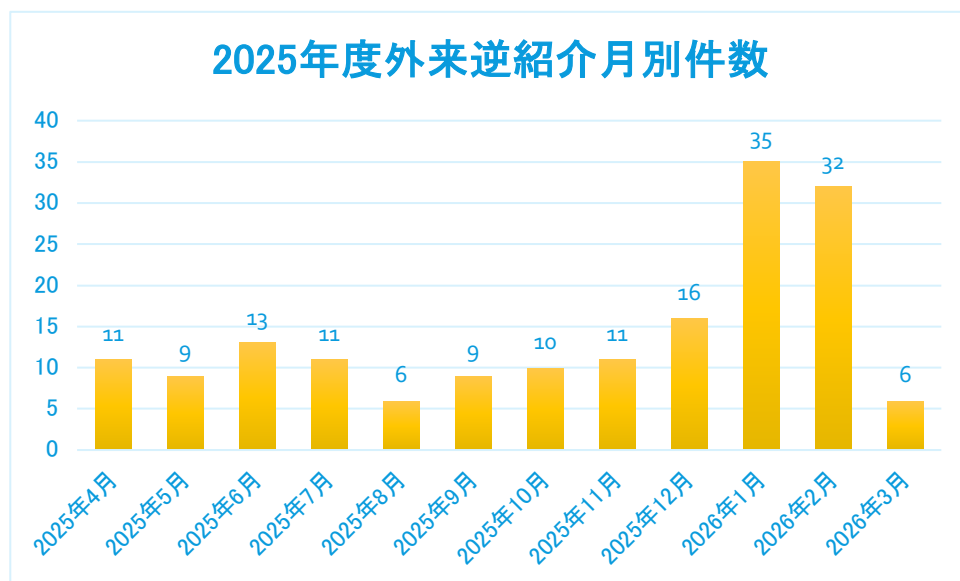
目標：呼吸器疾患における逆紹介新規導入 月 8 件年間 96 件

昭和医科大学病院・昭和医科大学病院附属東病院では「ふたり主治医制」を推進している。この制度を効率的に行うためには、高次医療機関としての精査、治療を終了した際に、適切な逆紹介を行うことで、それぞれの診療分担の明確化と情報共有が基盤となる。逆紹介を推進することで、最終的には「ふたり主治医制」による良質な医療提供を行うことをゴールとしている。

目標・ゴール達成による効果

- 1.逆紹介の増加による医療連携の活性化
- 2.ふたり主治医制の促進による当院受診患者の満足度増加

目標・ゴールに対する成果の状況



年間外来逆紹介総数 169 件

目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- ☐S : 大幅に目標を上回った
- ☒A⁺: 目標を多少上回って達成
- ☐A : 目標を達成
- ☐B⁺: 目標を少し下回った
- ☐B : 目標を下回った
- ☐C : 目標を大幅に下回った
- ☐ー : 外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

- ・ 年間総数は上回ったが、月別では下回った月もあった。
- ・ 診療科としての逆紹介システムが完全に確立されているのはいえない状況である。また運用されている地域医療連携パスの疾患が限られているため、まずは基盤となる地域連携・逆紹介システムの構築が必要である。
- ・ 地域の医師会とも双方向の情報交換を密に行い、逆紹介をさらに推進することで、医療ニーズの高い呼吸器疾患の地域医療ネットワークを引き続き展開していきたい。